

石川県の学童保育

No.404

石川学童保育
連絡協議会

二〇二六年度総会が開催されました

日頃より石川県学童保育連絡協議会（県連協）の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。六月に開催いたしました第四五回総会には、多くのクラブ・地域の皆様にご参加いただき、今後の運動方針を確認することができました。また、ご多忙の中ご臨席いただきましたご来賓の皆様にも、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、「放課後児童クラブ運営指針」が改定され、二〇二五年四月から施行されました。子どもの権利の保障や安全対策の充実をより重視した内容となっており、その理念を現場でどのように実践につなげていくのか、またそのための条件整備をどのように進めていくのかが、今まさに問われています。県内では大規模化が進む地域も見られます。しかし、大規模化は子どもたちが安全に、そして安心して継続的に過ごせる「生活の場」を十分に保障するうえで大きな課題

【ご挨拶】 石川県学童保育連絡協議会会長 森下 秀樹

を抱えています。学童保育は児童福祉法第六条の三に位置づけられているものの、実施主体である市町村の役割は「利用促進の努力義務」とどまっています。こうした現状も踏まえながら、私たち保護者と指導員がともに学童保育のあるべき姿を考え、声を上げていくことが重要です。また、学童保育指導員を取り巻く環境にも大きな課題があります。子どもの命と安全を守るという重大な責任を担っているにもかかわらず、全国学童保育連絡協議会の調査では、平均勤続年数が三〜五年と短く、経験や専門性を継続的に蓄積しにくい状況が続いています。専門性を持つ指導員が安心して働き続けられる環境づくりのため、処遇改善と研修の充実が喫緊の課題です。今後も指導員会の皆さんと協議を重ねながら、改善に向けて取り組んでまいります。県連協では今年度も、学童保育の当事者である保護者と指導員の願いを、国や自治

体、議員をはじめとする関係機関へ届ける取り組みを大切に進めてまいります。また、働きながらの子育てと学童保育の発展のためには、各クラブの保護者会と地域連協の存在が欠かせません。保護者会の活性化と地域連協の組織強化を進めながら、「子どもたちの放課後の生活」を守ることを運動の中心に据え、活動を続けてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

去る六月二八日に県地場産業振興センターにて開催された二〇二六年度総会・記念講演会には、会員・関係者など八〇名が参加しました。ご来賓の皆様からは、温かい励ましや学童保育の重要性について触れられるご挨拶をいただきました。

総会では、活動報告、決算報告及び活動方針案・予算案・役員案等の提案がなされ、すべて承認されました。

総会後の記念講演会では、「子どもたちはどんな世界を生きているの？」戸惑いから始まる子どもも理解」と題して、松田洋介さん（大東文化大学教授）にご講演をいただきました。



【ご来賓のご紹介】

- ①ご出席者名
県議会議員
・佐藤 正幸 様
・喜多 浩一 様
- ②代理ご出席者名
・衆議院議員西田昭二様
代理：秘書 谷内様
・衆議院議員佐々木紀様
代理：秘書 道券様
・衆議院議員小森卓郎様
代理：秘書 太田様
・衆議院議員小竹凱様
代理：後援会会長 笹野様
・参議院議員岡田直樹様
代理：秘書 大西様
・参議院議員宮本周司様
代理：秘書 南野様
- ③祝電をいただいた方
・衆議院議員 近藤 和也 様
・県議会議員 善田 善彦 様



松田先生の講演の様子



「学校・学級に行かない子どもたち」「スタンダード化する学校世界」「放課後の学校化」「オンラインメディアと子どもたち」「子ども世界のリアリティ変容」：今の子どもたちがどのような世界を生きているのか。大人は自分の「子どもイメー」を作り直すことから始めることが必要だと語られました。

「自治的世界」は、子どもを成長させ子どもの世界をつくる。学童保育だからできることだと話され、大人たちが現代の子どもの問題について語り合うこと、それらを子どもたちと共に語り合うことが大切だとお話しされました。